

# メマンチン塩酸塩錠 10mg 「KMP」の 生物学的同等性試験について

本剤は「含量が異なる経口固形製剤の生物学的同等性試験ガイドライン」に従い、メマンチン塩酸塩錠 20mg 「KMP」との溶出試験により、本剤の同等性を担保しています。

メマンチン塩酸塩錠 10mg「KMP」について、「含量が異なる経口固形剤の生物学的同等性試験ガイドライン」（平成 24 年 2 月 29 日 薬食審査発 0229 第 10 号）

（以下、ガイドライン）に従い、ヒトでの生物学的同等性が確認されたメマンチン塩酸塩錠 20mg「KMP」を標準剤として溶出試験を行い、生物学的同等性試験とした。なお、試験剤の処方変更水準は、ガイドラインにより B 水準に該当した。

<測定条件>

試験液 : pH1.2、pH3.0、pH6.8、水

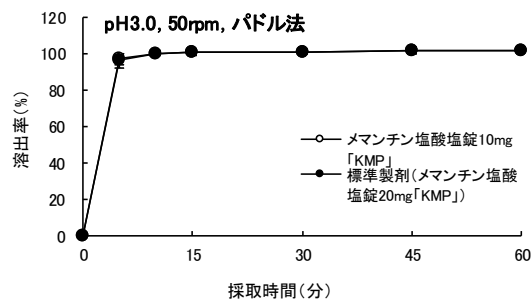
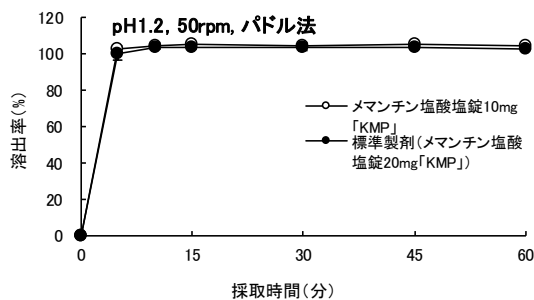
検体数 : n=12

回転数 : 50rpm

試験法 : パドル法

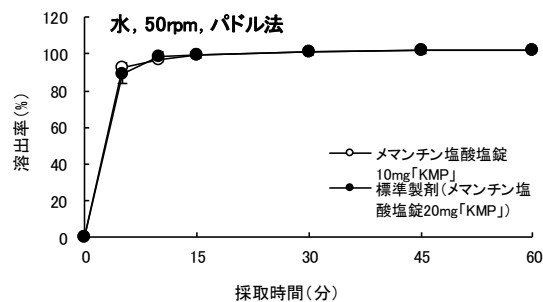
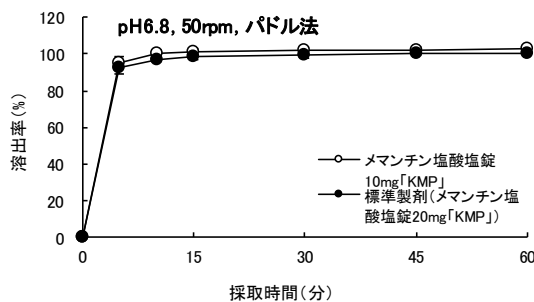
試験剤 : メマンチン塩酸塩錠10mg「KMP」

標準剤 : メマンチン塩酸塩錠20mg「KMP」



時間(分)	0	5	10	15	30	45	60
メマンチン塩酸塩錠10mg「KMP」	0	103.0	104.4	105.0	104.6	105.1	104.8
標準偏差	0	1.82	1.60	1.50	1.50	1.43	1.51
標準剤(メマンチン塩酸塩錠20mg「KMP」)	0	100.0	103.4	103.5	103.6	103.6	103.2
標準偏差	0	3.43	0.90	0.89	1.25	0.82	0.99

時間(分)	0	5	10	15	30	45	60
メマンチン塩酸塩錠10mg「KMP」	0	97.4	100.6	101.1	101.4	101.9	101.6
標準偏差	0	2.97	1.15	1.66	1.43	1.70	1.24
標準剤(メマンチン塩酸塩錠20mg「KMP」)	0	96.4	100.4	100.9	101.2	102.0	102.1
標準偏差	0	3.91	1.32	1.15	1.15	1.46	1.14



時間(分)	0	5	10	15	30	45	60
メマンチン塩酸塩錠10mg「KMP」	0	95.6	100.6	101.1	102.2	102.5	102.9
標準偏差	0	2.90	1.91	1.93	1.81	1.33	1.66
標準剤(メマンチン塩酸塩錠20mg「KMP」)	0	93.0	97.3	98.9	99.5	100.5	100.6
標準偏差	0	3.69	1.43	1.58	1.31	0.82	0.84


時間(分)	0	5	10	15	30	45	60
メマンチン塩酸塩錠10mg「KMP」	0	92.9	97.2	99.9	101.3	101.7	102.4
標準偏差	0	2.43	1.59	1.35	1.16	1.25	1.51
標準剤(メマンチン塩酸塩錠20mg「KMP」)	0	89.2	98.5	99.1	101.2	102.0	101.8
標準偏差	0	5.17	2.68	1.50	1.32	1.44	0.63

試験製剤及び標準製剤の同等性の判定基準及び判定結果

試験条件			平均溶出率(%)		両製剤の差(%)	判定基準	平均溶出率— 個々の溶出率 の範囲 (%)	判定基準	判定結果
回転数 (rpm)	試験液	採取時間 (分)	標準製剤	試験製剤					
50	pH1.2	15	103.5	105.0	-1.5	試験製剤が 15分以内に 平均85%以上 溶出するか、 又は両製剤の 差が±10%の 範囲にある。	-2.2~2.0	最終比較時点における試験製剤の個々の溶出率について、試験製剤の平均溶出率±15%の範囲を超えるものが12個中1個以下で、±25%の範囲を超えるものがない。	同等
	pH3.0	15	100.9	101.1	-0.2		-3.6~2.3		同等
	pH6.8	15	98.9	101.1	-2.2		-3.9~2.5		同等
	水	15	99.1	99.9	-0.8		-2.1~2.3		同等

(n=12)

上記の結果より、試験条件それぞれについて、溶出挙動が同等と判定された。従って、メマンチン塩酸塩錠 10mg「KMP」と、標準製剤（メマンチン塩酸塩錠 20mg「KMP」）は、生物学的に同等であるとみなされた。

製造販売元  

**共創未来ファーマ株式会社**  
 東京都品川区広町1-4-4

memT10-BE①